

平成24年度 学校経営計画

学校教育目標 確かな学力と豊かな心をもち、地域を愛し、健康でたくましい生徒の育成	指標値	{(そう思う)人数×100+(だいたいそう思う人数×6.6.6+ (あまりそう思わない人数×3.3.3+ (思わない)人数×0)+回答数
--	-----	--

目指す学校像 地域に信頼される活力のある学校を目指す																								
①学力の向上を目指し、わかる授業の確立に努める学校				②生徒が楽しく生き生きと学び活動する活気のある学校				③情報発信に努め、保護者、地域から信頼される学校				④生徒と教職員が信頼で結ばれた学校												
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力指標		成果指標		教師評価	中間 指標	最終 指標	変化	生徒評価	学年 指標	中間 指標	最終 指標	変化	保護者評価	中間 指標	最終 指標	変化	担当 分担	考察(結果分析と今後の取組)		
確かな学力の定着	○基礎学力の定着をめざし、指導方法について、工夫改善を図る。	① 学習意欲を高め、基礎学力の定着を目指す。 基礎基本定着状況調査で、各教科とも通過率60%以上の生徒が60%以上を目指す。	ペアや小グループ活動を取り入れた授業を実施する。	4	全体研修会の充実・教職員の充実感 指標値70以上	4	グループ内で積極的に意見を述べる事ができた生徒 指標値70以上	教師アンケート①	77.8	4		生徒アンケート①	1	77.5	4							ペアや小グループ活動を取り入れた授業はある程度定着し、多くの生徒が肯定的であり、生徒はおおむね意欲的に授業に参加できている。 教師側の課題として、小グループ活動は取り入れているが、効果的に実施できているかどうかという実感が持てないようである。取り組み内容を充実させるための研修を行っていく必要があると思われる。		
				3	全体研修会の充実・教職員の充実感 指標値60以上	3	グループ内で積極的に意見を述べる事ができた生徒 指標値60以上			2	75.3	4												
				2	全体研修会の充実・教職員の充実感 指標値50以上	2	グループ内で積極的に意見を述べる事ができた生徒 指標値50以上			3	81.4	4												
				1	全体研修会の充実・教職員の充実感 指標値50未満	1	グループ内で積極的に意見を述べる事ができた生徒 指標値50未満			全	78.2	4												
				4	1/3の授業で取り組み、効果的に実施できたと感じた教師 指標値70以上	4	授業が楽しいと答える生徒 指標値70以上	教師アンケート②			生徒アンケート②	1	70.5	4										
				3	1/3の授業で取り組み、効果的に実施できたと感じた教師 指標値60以上	3	授業が楽しいと答える生徒 指標値60以上			2	71.7	4												
				2	1/3の授業で取り組み、効果的に実施できたと感じた教師 指標値50以上	2	授業が楽しいと答える生徒 指標値50以上			3	84.0	4												
				1	1/3の授業で取り組み、効果的に実施できたと感じた教師 指標値50未満	1	授業が楽しいと答える生徒 指標値50未満			全	75.5	4												
			補充授業(暮会学習)を充実させる。	4	交流を深め充実した取り組みを行った教師 指標値70以上	4	積極的に補充学習に取り組んだ生徒 指標値70以上	教師アンケート③			生徒アンケート③	1	69.8	3									暮会学習等の取り組みはおおむね定着している。各学年で実態に合わせた内容の学習に取り組んでいる。生徒アンケートを行った時期(体育祭前)に一年生は暮会学習を中断していたため、生徒の評価が若干低かったようである。	
				3	交流を深め充実した取り組みを行った教師 指標値60以上	3	積極的に補充学習に取り組んだ生徒 指標値60以上			2	72.4	4												
				2	交流を深め充実した取り組みを行った教師 指標値50以上	2	積極的に補充学習に取り組んだ生徒 指標値50以上			3	71.9	4												
				1	交流を深め充実した取り組みを行った教師 指標値50未満	1	積極的に補充学習に取り組んだ生徒 指標値50未満			全	71.3	4												
			学校行事やグループワークを通して、他者評価活動を組織的に実施する。	4	授業で他者評価活動を取り入れた教師 指標値80以上	4	他人の頑張りやよいところを発見しようと努力した生徒 指標値70以上	教師アンケート④			生徒アンケート④	1	64.7	3										授業の中で他者評価活動を効果的に実施することで、他者のよいところを認め、自分を肯定的に評価され、安心して学校生活を送るきっかけとさせた。また、より落ち着いた学習活動をさせたい。1年生では他者理解の方法を体得させるために、ゲーム的な要素のグループワークを実施した。
				3	授業で他者評価活動を取り入れた教師 指標値70以上	3	他人の頑張りやよいところを発見しようと努力した生徒 指標値60以上			2	68.9	3												
				2	授業で他者評価活動を取り入れた教師 指標値60以上	2	他人の頑張りやよいところを発見しようと努力した生徒 指標値50以上			3	76.3	4												
				1	授業で他者評価活動を取り入れた教師 指標値60未満	1	他人の頑張りやよいところを発見しようと努力した生徒 指標値50未満	授業で、他者評価活動を取り組んでいる。			全	70.0	4											
				4	組織的に他者評価活動を年3回以上行った。	4	学校生活を安心して送っていると感じられる生徒 指標値70以上			1	74.5	4												
				3	組織的に他者評価活動を年2回行った。	3	学校生活を安心して送っていると感じられる生徒 指標値60以上			2	65.9	3												
				2	組織的に他者評価活動を年1回行った。	2	学校生活を安心して送っていると感じられる生徒 指標値50以上			3	80.1	4												
				1	組織的に他者評価活動を行わなかった。	1	学校生活を安心して送っていると感じられる生徒 指標値50未満			全	73.8	4												
			生徒会活動や部活動を通して、学校生活をよりよいものにするための方法を考えさせる場面を作る。	4	生徒会活動の支援ができた教師 指標値70以上	4	学校生活の課題を点検活動等により改善しようと取り組んだ生徒 指標値70以上	教師アンケート⑤			生徒アンケート⑥	1	69.8	3										生徒会がリーダーシップを取って点検活動を行った。学年ごとに違う取り組み内容になってしまったことで、学校全体で同じことを実施したという達成感は少なかったように思われる。後期では、学年ごとの協議会を動かしながら、全校体制で共通の取り組みを考えたい。
				3	生徒会活動の支援ができた教師 指標値60以上	3	学校生活の課題を点検活動等により改善しようと取り組んだ生徒 指標値60以上			2	64.5	3												
				2	生徒会活動の支援ができた教師 指標値50以上	2	学校生活の課題を点検活動等により改善しようと取り組んだ生徒 指標値50以上	(「ベル着を守る・忘れ物をしない・家庭学習」など生徒会活動を支援している。			3	69.8	3											
				1	生徒会活動の支援ができた教師 指標値50未満	1	学校生活の課題を点検活動等により改善しようと取り組んだ生徒 指標値50未満			全	68.2	3												
				4	協議会を組織して学年集会等の企画運営が機能したと感じる教師 指標値70以上	4	生徒会活動への参加意識や成果を感じている生徒 指標値70以上	教師アンケート⑥			生徒アンケート⑦	1	68.5	3										
				3	協議会を組織して学年集会等の企画運営が機能したと感じる教師 指標値60以上	3	生徒会活動への参加意識や成果を感じている生徒 指標値60以上			2	58.7	2												
				2	協議会を組織して学年集会等の企画運営が機能したと感じる教師 指標値50以上	2	生徒会活動への参加意識や成果を感じている生徒 指標値50以上	協議会を組織した学年集会等の企画・運営が機能していると感じる。			3	72.6	4											
				1	協議会を組織して学年集会等の企画運営が機能したと感じる教師 指標値50未満	1	生徒会活動への参加意識や成果を感じている生徒 指標値50未満			全	66.9	3												

